

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	①					
1. 個別事業名	女性が活躍できる企業応援事業					
2. 実施期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日					
3. 総事業費	3, 359, 346円					
4. 事業内容	<p>(1)女性活躍推進フォーラム〈対象:企業トップ等〉          男性中心型労働慣行等の職場環境・企業風土を改善し、女性活躍を推進するためには、企業トップが先頭に立って、女性の活躍推進、働き方改革を進めることが必要であることから、企業トップ等の意識改革を図るためのフォーラムを実施した。          日時:H30.11.21 場所:城山ホテル鹿児島 参加者:118名          ①県女性活躍推進優良企業知事表彰          国立大学法人鹿児島大学, 町田酒造株式会社          ②表彰企業事例発表          ③講演「女性が活躍する企業が成長する理由(わけ)」          講師 八木洋介氏(前 株式会社LIXILグループ執行役副社長)          ④情報交換会</p> <p>(2)女性活躍推進アドバイザー派遣〈派遣数:3団体〉          団体等が開催する定例会等に、女性活躍推進のアドバイザーを派遣することにより、女性活躍の理解促進、取組の拡大を図った。          【アドバイザー】安藤哲也氏(NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事)          【派遣先】国立大学法人鹿児島大学(H30.12.21)36名          医療法人二三和会(H31.1.16)50名          日置市異業種交流懇話会(H31.2.5)84名</p> <p>(3)女性活躍推進優良企業の表彰          女性の登用や継続就業など、女性活躍推進に積極的に取り組む企業を表彰し、その事例を広く情報発信することで、女性活躍推進に取り組む県内企業の取組の促進を図った。          また、優良事例を広く情報発信するため、女性活躍推進フォーラムで事例発表するとともに、取組事例集を作成し、県女性活躍推進会議構成団体を通じて、各企業や市町村、教育機関、ハローワーク等に配布し、県内の取組拡大を図った。</p> <table border="1" data-bbox="491 1556 1528 1953"> <tr> <td data-bbox="491 1556 667 1787">・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</td> <td data-bbox="667 1556 1528 1787">各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と共催で行い、企画の検討や構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について県女性活躍推進会議において情報を共有し、今後の取組に反映する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1787 667 1953">・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</td> <td data-bbox="667 1787 1528 1953">県内全域の企業に参加してもらうため、市町村を通じて、各事業の周知を図った。</td> </tr> </table>		・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と共催で行い、企画の検討や構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について県女性活躍推進会議において情報を共有し、今後の取組に反映する。	・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	県内全域の企業に参加してもらうため、市町村を通じて、各事業の周知を図った。
・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法	各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と共催で行い、企画の検討や構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 事業の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について県女性活躍推進会議において情報を共有し、今後の取組に反映する。					
・連携地方公共団体及び具体的な連携方法	県内全域の企業に参加してもらうため、市町村を通じて、各事業の周知を図った。					

4. 事業内容	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p>	<p>〈交付金事業間連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業番号②の女性向けに実施するセミナーと併せて、本事業の広報及び参加促進を図った。一企業からトップ・管理職・女性社員が参加するよう働きかけを行なったことで、企業内の気運醸成につながった。</li> <li>・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。</li> </ul> <p>〈他施策との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県雇用労政課が実施する鹿児島いきいき働き方改革事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。</li> <li>・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。</li> </ul>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>女性の活躍をはじめとするダイバーシティ推進の必要性について講演いただくことにより、県内事業所の経営者や管理職等に広く経営戦略としてのダイバーシティ・マネジメントについて理解を深めていただくことができた。</p> <p>【女性活躍推進フォーラム】満足と回答した割合 知事表彰・事例発表:98.9% 講演:94.5%</p>	
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>鹿児島県女性活躍推進宣言企業数は目標50社に対し、現状50社となった。</p> <p>鹿児島県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループにおいて協議された、企業や働く女性の立場からの意見を事業に反映させることにより、地域の実情に応じた取組の効果的な推進がなされた。</p>	
7. 今後の課題	<p>当県においては、鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、未だに男性中心型労働慣行等の企業風土は根強く、女性の活躍推進のためには、経営者及び管理職の意識改革が重要であり、今後とも、県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループ等と連携して、女性活躍の必要性についてのPRや企業へのより一層の働きかけを行う必要がある。</p>	

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	②
1. 個別事業名	女性のキャリアアップ支援事業
2. 実施期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日
3. 総事業費	2, 738, 416円
4. 事業内容	<p>(1)県女性活躍推進会議女性ワーキンググループによる協議 女性活躍推進会議に設置している女性ワーキンググループにおいて、協議、意見交換を行い、女性活躍推進事業に反映させた。 第1回(H30.5.24) 第2回(H30.12.13)</p> <p>(2)働く女性の異業種交流会(対象:働く女性) 女性活躍推進のさらなる気運醸成を図るため、働く女性の異業種交流会を開催し、意識の向上を図るとともに、ネットワークづくりの促進を図った。 日時:H31.2.24 場所:城山ホテル鹿児島 参加者:79名 ①ロールモデルによるパネルディスカッション 【ロールモデル】井本亜香氏(キンビール南部九州支社鹿児島支店支店長) 小園絢子氏(南大隅町観光プロデューサー) 松見千種氏(マルヤガーデンズマネージャー) 西野友季子氏(ホテルニューニシノ代表取締役) 増留麻紀子氏(鹿児島大学大学院理工学研究科助教) ②鹿児島県女性ワーキンググループの活動報告 ③グループトーク ④交流タイム</p> <p>(3)キャリアデザインセミナー(対象:働き又は働こうとする女性) 女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲を持って就業できるよう、意識の向上やキャリアアップのための能力開発、ネットワークづくりの支援を行うことを目的にセミナーを開催した。 【セミナー名】「わたし×働くのこれからをデザインする3DAYS vol.2」 共催・会場:マルヤガーデンズ 1日目「新しい生き方、働き方のヒントが見つかる～二極化時代の新提言」 日時:H31.1.27 参加者:101名 講師 野村浩子氏(ジャーナリスト・淑徳大学教授/元「日経WOMAN」編集長) ※1日目は公開講座とした。 2日目「アサーティブ・トレーニング～“わたし”を“わたし”の真ん中に～」 日時:H31.2.3 参加者:30名 講師 高崎恵氏(アサーティブネストレーナー) 3日目「Her Story Library～彼女の物語を読み“わたし”の人生をデザインする～」 日時:H31.2.17 参加者:37名</p> <p>(4)学生のためのエンパワメントセミナー(対象:学生) これから社会に出る学生が、固定的性別役割分担意識にとらわれず、自らの個性と能力を発揮して主体的な生き方を選択することを目指し、セミナーを実施した。 日時:H31.2.13 場所:鹿児島県立短期大学 参加者:18名 【セミナー名】「ワールド・カフェでこれからの生き方・働き方を考えよう」 講師 萩原なつ子氏(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授/立教大学社会学部教授)</p>

4. 事業内容	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法</p>	<p>(2)の事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議に設置している女性ワーキンググループにおいて、協議、意見交換を行い、事業内容に反映させるとともに、当日はグループトークにおける進行役として参加していただいた。</p> <p>(3)の事業の実施にあたっては、商業施設であるマルヤガーデンズと共催で実施し、広報及び申込み受付等の御協力をいただいた。</p> <p>(4)の事業の実施に当たっては、平成29年度に県内の大学や短期大学等によって設立された「鹿児島県内大学等男女共同参画連携会議」と連携して広報を行うことで、内容や情報発信の充実を図った。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p>	<p>県内全域の企業に参加してもらうため、市町村を通じて、各事業の周知を図った。</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携</p>	<p>〈交付金事業間連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業番号①の企業トップや管理職向けに実施する事業と併せて、本事業の各種セミナーの広報及び参加促進を図った。一企業からトップ・管理職・女性社員が参加するよう働きかけを行うことで、企業内の気運醸成につながった。</li> <li>・女性活躍推進交付金事業を実施する薩摩川内市に対して、本事業の周知・広報の協力を依頼するなど、連携して事業を実施した。</li> </ul> <p>〈他施策との連携〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県雇用労政課が実施する鹿児島いきいき働き方改革事業の参加者に対して、本事業の周知・広報等を行い、女性の活躍推進に関する取組の拡大を図った。</li> <li>・鹿児島市が実施する女性活躍推進事業と連携して、本事業の周知・広報等を行った。</li> </ul>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>それぞれのセミナーで対象を分け、よりニーズに合った内容を提供したことにより、あらゆる世代、様々な状況の女性にアプローチすることができ、女性のキャリア意識の向上、ネットワークづくりにつながった。</p> <p>商業施設や大学といった男女共同参画センター以外の場所で事業を実施したことにより、当センター主催事業への参加が少なかった層、当センターを知らない方へ情報を届けることができ、多くの参加につながった。</p>	
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>参加者の満足度は目標値80%に対して、全て90%を超えており、目標を達成することができた。</p> <p>(2)働く女性の異業種交流会 95.8%(非常に良い、良いと回答した割合)</p> <p>(3)キャリアデザインセミナー 100.0%(満足、やや満足と回答した割合)</p>	
7. 今後の課題	<p>働く女性の中には、責任が重くなることや長時間労働により仕事と家庭生活の両立が困難になることへの不安から、管理職に就くことに消極的な女性が多い状況である。</p> <p>このため、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲を持って就業できるよう、意識の向上やキャリアアップのための能力開発の支援を行う必要がある。</p> <p>併せて、ロールモデルの提示や交流の機会を提供するとともに、女性のネットワークづくりを促進する必要がある。</p>	

## 地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分) 個別事業

都道府県名:鹿児島県

事業番号	③
1. 個別事業名	女性活躍推進会議運営事業
2. 実施期間	平成 30年 4月 1日 ~ 平成 31年 3月 31日
3. 総事業費	148,831円
4. 事業内容	<p>(1) 女性活躍推進会議の運営 働く場における女性の活躍を推進するためには、事業所の取組が不可欠であることから、経済団体や行政等が連携する「鹿児島県女性活躍推進会議」の協議・活動を通じて県内の女性活躍の取組を促進を図った。 平成30年度は、女性の活躍推進及び支援策に関する協議を行うとともに、事業番号①(3)女性活躍推進優良企業表彰制度の見直しを行い、また、同会議にて表彰候補企業を選考した。 第1回(H30.5.23) ・県女性活躍推進優良企業知事表彰制度の見直しについての協議 ・平成29年度女性活躍推進関係事業実績の報告 ・平成30年度女性活躍推進関係事業計画の説明 ・平成30年度働き方改革推進関係事業計画の説明 第2回(H30.8.9) ・平成30年度県女性活躍推進優良企業知事表彰候補企業の選考</p>
	<p>・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 経済団体や大学等の多様な主体で構成する県女性活躍推進会議において、県内企業の女性活躍の取組状況等について情報を共有するとともに、意見交換を行い、事業に反映した。</p>
	<p>・連携地方公共団体及び具体的な連携方法</p>
	<p>・交付金事業間連携、他施策との連携 〈交付金事業間連携〉 ・事業番号①の各事業の実施に当たっては、県女性活躍推進会議と共催で行い、企画の検討や構成団体を通じた事業の周知、参加促進を図った。 ・事業番号①(3)女性活躍推進優良企業の表彰については、県女性活躍推進会議にて制度の見直しを行うとともに、構成団体を通じて幅広く募集を行い、同会議にて選考を行った。</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	経済団体や大学等の多様な主体で構成する県女性活躍推進会議におい協議された、企業や働く女性の立場からの意見を事業に反映させることにより、地域の実情に応じた取組の効果的な推進が図られた。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	鹿児島県女性活躍推進宣言企業制度登録数は、目標50社に対し、50社の登録となり、目標を達成することができた。
7. 今後の課題	当県においては、鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、未だに男性中心型労働慣行等の企業風土は根強く、女性の活躍推進のためには、経営者及び管理職の意識改革が重要であり、今後とも、県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループ等と連携して、女性活躍の必要性についてのPRや企業へのより一層の働きかけを行う必要がある。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2) 本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。